

県内初 日本ハーマモニカ賞

大分市の佐藤貴茂さん

ハーマモニカ演奏の普及や発展に尽くしたとして、佐藤貴茂さん(73)＝大分市中島東＝が全日本ハーマモニカ連盟(東京都)から「日本ハーマモニカ賞」を受けた。県内では初めての選出で「まさか自分が賞をもらうとは。世話になった先人のおかげ」と喜んでいる。

コンテスト以外の顕彰力連盟の定期演奏会やプロ制度としては唯一の賞で、のディナーショー、県内外これまで447の個人・団体のクラブの交流会開催などが受賞。今年佐藤さんと、定年退職後から幅広くを含め全国の愛好家8人活動。県老人クラブ連合会が長年の活動を評価され「ふるさとの達人」にも登録し、県内各地の高齢者施設や病院を慰問しては哀

ハーマモニカがずらり。用たれ、今も忘れられない。途に応じて使い分けていという。一方で「同じハーマモニカを使っているのなら、僕にも同じ演奏ができるかもしれない」と思い、追求の日々が始まった。教諭がプロの道を勧めるほど、みるみる上達していった。

美しい音色、追求続ける

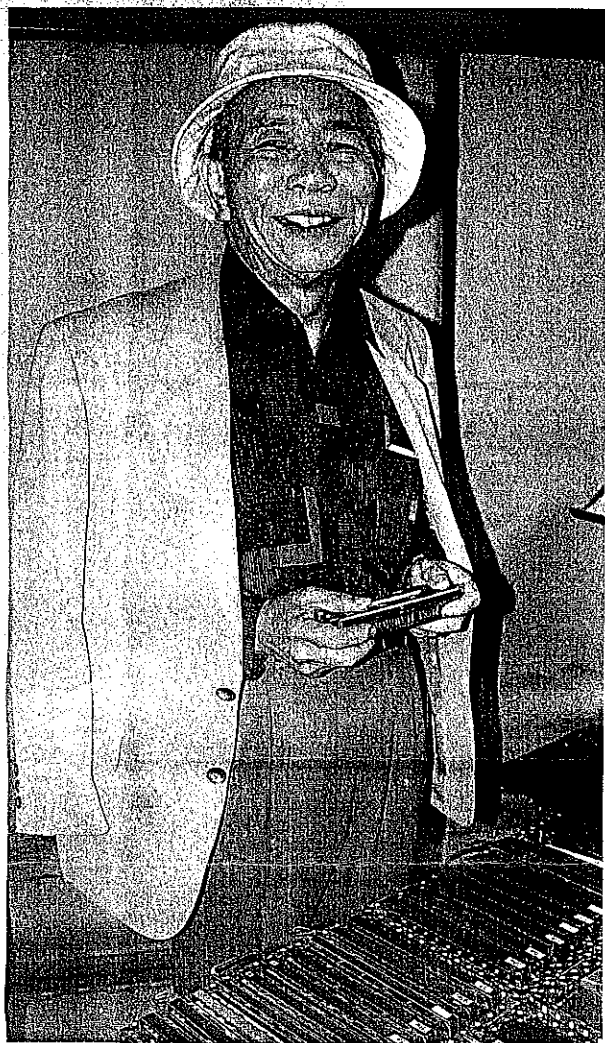
ホランティア演奏や後進の指導

愁のある音色で多くの人を魅了してきた。ハーマモニカの魅力を「幅が広く、奥が深い」と語る。自宅には4穴だけの小さな「ペンダント」から大きな「バス」ジャンソン、「民謡」など100本を超す。小学校にプロが訪れた際は、「美しい音色に胸を打

けていろんな奏法ができるた。のも醍醐味だ。唇や舌の調整で主旋律と和音を同時にこなし、「表れそれで生徒から学ぶことは多く、それは基本を大事に練習を積むことで気付くことができる。師範はゴールではない」と肝に銘じている。

師範として指導する機会も増えたが、「感性は人それぞれで生徒から学ぶことは多く、それは基本を大事に練習を積むことで気付くことができる。師範はゴールではない」と肝に銘じている。

(永富希望)



哀愁のある音色で多くの人を魅了してきた佐藤貴茂さん＝大分市中島東

しばらくはやめていたが退職後の趣味として再スタート。発足したばかりの愛好家クラブに入り、「人の役に立つことをしよう」と県内で初めてハーマモニカ演奏でのホランティア活動を始めた。プロに弟子入りして技術を磨くと同時に県内のレベルアップを目指し、プロを招いた講習や交流会を開いて普及、発展に努め

縮小(90%)コピー

プログラム

1. 無伴奏 ソロ

- ① 男はつらいよ
- ② 荒城の月

2. 歌いましょう!

- ① 青い山脈
- ② 坊がっつる讃歌



3. 珍しいハモニカ(…を使って)

- ① オリーブの首飾り
- ② さざんかの宿
- ③ 故郷(ふるさと)…歌いましょう!



4. イントロ ゲーム

5. リクエスト タイム

リクエスト対象曲

- | | | | |
|-----------|---------|---------|---------|
| おぼろ月夜 | 小鹿のバンビ | 五木の子守唄 | 矢切りの渡し |
| 青葉の笛 | 故郷を離るる歌 | 靴 友 | 奥飛騨慕情 |
| 霧の摩周湖 | 椰子の奥 | ラバウル小唄 | 津軽のふるさと |
| うれしいひなまつり | 箱根の山 | 明日はお立ちか | 悲しい酒 |
| 殖生の宿 | さくらさくら | 長崎の鐘 | ここに華あり |
| 月の沙漠 | 四季の歌 | | |

テープ併用

孫
 高校三年生
 浪路はるかに
 坊がっつる讃歌
 アメリカの曲メドレー

本日の、私のハーモニカ演奏…、最後までご静聴ご協力を頂き、有難うございました。
 お楽しみ頂けましたでしょうか。 いつまでもお元気で楽しく過ごされますよう心から
 お祈りいたしております。 いつかまた、お会い致しましょう。

★★プロフィール★★

佐藤 貴茂 (さとう たかしげ)
 大分市中島東1-3-27
 Tel: (097) 538-1881



★平成12年3月
 大分県信用組合を退職
 ★平成28年4月
 「日本ハーモニカ賞」受賞
 ……大分県初、於：東京

- ★ 全日本ハーモニカ連盟理事
- ★ 九州ハーモニカ連盟理事
- ★ 日本ハーモニカアカデミー 認定師範
- ★ ハーモニカ教室 主宰

- 演奏会開催
- 各種イベント参加
- 訪問・慰問演奏
- 後進の指導・サポート
- 愛好者相互交流・親睦 等々